

これは、あなたのまわりのいろいろな情報についてたずねるものです。質問は全部で12あります。あなたの考えにもっとも近いものを選び、番号を○でかこんでください。

質 問 事 項	1～5の中から選んで、番号を○でかこんでください。				
A あなたは、問題をとこうとするときに、自分から進んで本や事典などを使ったり、人にたずねたりして調べていますか。	1 まったくしていない	2 ほとんどしていない	3 とときどきしている	4 だいたいしている	5 いつもしている
B あなたは、問題をとこうとするときに、自分から進んで調べたものの中から役立つものを選んでいきますか。	1 まったくしていない	2 ほとんどしていない	3 とときどきしている	4 だいたいしている	5 いつもしている
C あなたは、自分から進んで調べたことがらをわかりやすくまとめていますか。	1 まったくしていない	2 ほとんどしていない	3 とときどきしている	4 だいたいしている	5 いつもしている
D あなたは、わかったことを次の学習に生かそうとしていますか。	1 まったくしていない	2 ほとんどしていない	3 とときどきしている	4 だいたいしている	5 いつもしている
E あなたは、わかったことを相手に正しく伝えていますか。	1 まったくしていない	2 ほとんどしていない	3 とときどきしている	4 だいたいしている	5 いつもしている
F あなたは、コンピュータが日常生活の中でますます身近なものになっていくと思いますか。	1 そう思わない	2 ほとんどそう思わない	3 どちらともいえない	4 たぶんそう思う	5 そう思う
G あなたは、コンピュータがこれからの社会にいろいろなえいきょうをあたえると思いますか。	1 そう思わない	2 ほとんどそう思わない	3 どちらともいえない	4 たぶんそう思う	5 そう思う
H あなたは、情報がわたしたちの生活の中で重要なはたらきをしていると思いますか。	1 そう思わない	2 ほとんどそう思わない	3 とときどきそう思う	4 だいたいそう思う	5 そう思う
I あなたは、他の人の迷惑を考えて情報を利用したり、情報を伝えたりしていますか。	1 まったくしていない	2 ほとんどしていない	3 とときどきしている	4 だいたいしている	5 いつもしている
J あなたは、コンピュータがどんなところに使われているかわかりますか。	1 まったくわからない	2 ほとんどわからない	3 少しわかる	4 だいたいわかる	5 よくわかる
K あなたは、コンピュータを使うとどんな便利などがあるかわかりますか。	1 まったくわからない	2 ほとんどわからない	3 少しわかる	4 だいたいわかる	5 よくわかる
L あなたは、コンピュータを使うことができますか。	1 まったくできない	2 ほとんどできない	3 少しできる	4 だいたいできる	5 よくできる

図5 児童生徒の評定尺度Ⅱの例…小学校用

4. 情報活用能力の育成プロセスの作成

育成プロセスのモデルでは、育成過程の基本的なねらいを「児童生徒自身による課題（問題）の発見」「課題解決のための情報手段の活用」「児童生徒自身による課題の解決」においた。

したがって、実践研究においては①情報活用能力のどの部分を育成するのかを明確にし、それにそった課題を設定する。② ①で確認された情報を基に、課題解決のための情報手段として活用可能なメディアは何かを明確にする。また、メディアの活用の仕方の習得が図れるような場を設定する。③課題解決に当たっては、児童生徒が自ら実践して解決した内容を、最終的なまとめとして児童生徒が自ら評価できるよう配慮する。以上を考慮しながら育成プロセスを作成することとした。

図6は、中学校学校級指導「進路指導…学ぶための制度と機会」を題材に、情報機器の活用能力の育成に焦点をあてたときの一例である。

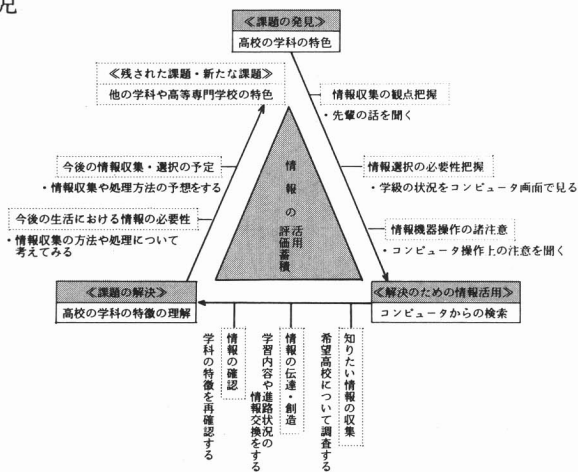


図6 情報活用能力の育成プロセス